

ゆうわ・YUWA

城南学区

JONAN



多文化共生の まちからのメッセージ

岡崎市コミュニティ通訳員 戸倉 ナンシー 千栄子さん
(ブラジル生まれ・日本在住 26年)

Quando eu cheguei ao Japão, e também quando os meus filhos chegaram em idade escolar, as dificuldades eram inúmeras, tanto na comunicação quanto na cultura.

Hoje, a cidade de Okazaki tem tradutores em vários locais, aulas de japonês e o intercâmbio entre as culturas, facilitando o dia a dia de nós estrangeiros, e com essas atividades ficou mais fácil a integração na cultura japonesa.

E que nós moradores da cidade de Okazaki, japoneses e estrangeiros possamos entender melhor a cultura de cada país e viver da melhor maneira possível, em harmonia. (ポルトガル語)

最初に日本に来た時は、日本の言葉や文化がわからず、子どもが学校に通うのも、買い物をするのも、困る事ばかりでした。

今は、通訳、日本語教室、文化交流などに岡崎市が取り組んでいるおかげで、日本の文化にも慣れ、生活がしやすくなりました。

これからも岡崎に住んでいる日本人と外国人が、それぞれの文化をもっと理解しあい、仲良く暮らせるまちを目指したいと思います。(日本語訳)



家康行列に参加して多文化共生を市民にアピールする学区の児童たち



4か国語で表記された小学校の歓迎看板



編集後記

YU・ゆう＝「友・勇・優・結・遊・湧・融」

WA・わ＝「輪・和」

キャッチフレーズの「ゆうわ・YUWA」には、いろいろな意味が込められています。みなさんのその時々のお気持ちにあわせて、自由に文字を組み合わせていただけたら嬉しく思います。学区で力を合わせて、多文化共生のまちを目指していきましょう。

〔作成委員会〕 内笹井忠男/小松賢司/高嶽利行/廣中直美/宮下周次

〔参考資料〕 城南 創立十周年・二十周年・三十周年記念誌各号/拓城南

〔表紙写真〕 城南CITYカーニバルのセレモニー、小学校のハクモクレン、「ふるさと城南」看板

城南学区のなりたち

1 完成2年後の県営上和田住宅を矢作川堤防より望む

- 一八八八年 ■ 明治 21
- 一九一六年 ■ 大正 5
- 一九二八年 ■ 昭和 3
- 一九三〇年 ■ 昭和 5
- 一九六二年 ■ 昭和 37
- 一九七二年 ■ 昭和 47
- 一九七三年 ■ 昭和 48

2 渡橋の架橋により岡崎から刈谷への幹線道路が開通

- 一九七六年 ■ 昭和 51
- 一九七七年 ■ 昭和 52
- 一九七七年 ■ 昭和 53
- 一九七九年 ■ 昭和 54
- 一九八〇年 ■ 昭和 55

3 開校したばかりの城南小学校を空から見る

- 一九八一年 ■ 昭和 56
- 一九八四年 ■ 昭和 59
- 一九八六年 ■ 昭和 61

4 岡崎城南土地区画整理事業の起工式

- 一九九七年 ■ 平成 9
- 一九九八年 ■ 平成 10
- 二〇〇三年 ■ 平成 15
- 二〇〇四年 ■ 平成 16
- 二〇〇六年 ■ 平成 18
- 二〇〇七年 ■ 平成 19
- 二〇一二年 ■ 平成 24
- 二〇一四年 ■ 平成 26

5 中国・フフホト市親善訪問団の来校を歓迎し城南音頭を披露する児童たち

- 二〇一四年 ■ 平成 26

国鉄東海道本線浜松—大府間が開通し岡崎駅が開業
岡崎市制施行
額田郡岡崎村が岡崎市に合併
省営バス岡多線が岡崎—多治見間で運行を開始
碧海郡六ツ美町が岡崎市に合併
県営上和田住宅の入居開始：1
渡橋が架橋され県道岡崎刈谷線が開通：2
江口公園が完成

国鉄岡多線が岡崎—新豊田間で旅客営業を開始
城南小学校が開校：3
第一回「新年歩き歩け大会」を実施（↓特集）
祈禱野公園が完成
岡崎城南土地区画整理事業が完了し、六名町・上和田町・羽根町の一部が城南町一〜三丁目になる：4
岡崎都市計画南部土地区画整理事業が完了し、六名町・戸崎町・羽根町の一部が江口一〜三丁目と中田町になる
城南公園、中村公園が完成
羽根西公園が完成
城南学区市民ホームが開館
城南学区こどもの家が完成

城南小学校開校10周年記念事業としてハクモクレンを植栽（↓表紙）
愛知環状鉄道が開業
城南小学校開校20周年記念事業として「ちびっこどうぶつえん」を設置
ブラジル総領事が城南小学校を訪問（2002年まで）
岡崎駅西土地区画整理事業が完了し、羽根西一〜三丁目になる
城南小学校に中国・呼浩特市親善訪問団が来校：5
城南小学校で「城南CITYカーニバル」を開始（↓特集）
城南小学校開校30周年記念事業を実施
城南小学校がユネスコスクールに加盟（↓特集）
県営上和田住宅の建て替え工事が開始

みんなで踊ろう！城南音頭

8月の学区夕涼み盆踊り大会でメインを飾る「城南音頭」は、学校・学区創立20周年を記念して1997年（平成9）に誕生しました。四季の風景と学区民の絆が歌詞に織り込まれ、学区の人びとにはおなじみの一曲です。



- 1 春の城南 ケヤキが芽吹き
笑顔で集う 仲間たち
北の地方から ようこそ城南へ
優しくみんなを見つめる
みんなで（アソレ）
輪になって（ソーレソレソレ）
踊ろうよ
みんな仲良し いつも笑顔で
城南音頭
- 2 夏の城南 緑の木陰
楽しくふれあう 仲間たち
南の地方から ようこそ城南へ
優しくみんなを包んで
みんなで（アソレ）
手を取り合って（ソーレソレソレ）
踊ろうよ
みんな仲良し いつも笑顔で
城南音頭
- 3 秋の城南 落ち葉の錦
親しく語らう 仲間たち
日本じゅうから ようこそ城南へ
優しくみんなを育てる
みんなで（アソレ）
肩組み合って（ソーレソレソレ）
踊ろうよ
みんな仲良し いつも笑顔で
城南音頭
- 4 冬の城南 春待つ息吹
愛を育む 仲間たち
世界の国から ようこそ城南へ
優しくみんなを支えて
みんなで（アソレ）
心ひとつに（ソーレソレソレ）
踊ろうよ
みんな仲良し いつも笑顔で
城南音頭

作詞 城南小国語部
作曲 城南小音楽部

城南学区のあゆみ

城南学区は、もとをたどると旧岡崎市、額田郡岡崎村、碧海郡六ツ美町の3市町村にわかれていました。矢作川河畔の天白（旧岡崎市）、岡崎駅西の羽根（岡崎村）、浄珠院を中心とした上和田（六ツ美町）の3か所が古くからの集落です。
かつて学区の一角は稲作、菜種栽培、養蚕などが盛んな農村で、なかなか田園風景が広がっていません。しかし昭和40年代に入ると岡崎市の人口が急増し、これに対応するため団地の建設や宅地造成が急務となります。その受け皿となったのが、農地や山林が多いため開発の余地があり、国鉄岡崎駅や名鉄東岡崎駅にも近い岡崎市南部一帯でした。

学区域では、1972年（昭和47）に完成した県営上和田住宅が開発の走りとなります。その翌年には渡橋の架橋により県道岡崎刈谷線が開通し、交通の便も格段に向上しただけでなく、沿道に商業施設も増えていきました。これらを契機に転入者が急増し、周辺の六名、羽根、岡崎六ツ美北部各小学校の児童数も増加の一途をたどります。この先も区画整理事業が予定されており、さらなる人口増が見込まれました。

こうした流れを受け1977年（昭和52）、4学区から分離する形で城南小学校が開校したのです。市内38番目の小学校でした。
城南の名は、岡崎城の南に位置する地域であることが由来です。



城南公園に建てられた岡崎城南土地区画整理事業完成記念碑

DATA



□人 □ 8,759人
男性 4,383人
女性 4,376人
□世帯数 3,784世帯
□面積 1.58km²
[2016年7月1日現在]

城南学区まちあるきマップ

農村から住宅地へと変貌を遂げた私たちの学区は、歴史を伝える神社仏閣から、みんなが集う気持ちのよい公園まで、古いものと新しいものが「ゆうわ・YUWA」しています。



絹本著色法然上人絵伝
浄土宗の開祖、法然上人の生涯を描いた六幅の掛け軸。鎌倉時代の作とされ、市の文化財に指定されています



風格ある本堂

学区の名刹
浄珠院（じょうじゅいん）
創建は平安時代前期の承和年間（834〜848）。一時廃絶しますが、室町時代の応永年間（1394〜1428）に教然上人により再興。徳川家康が一向一揆鎮圧の際に本陣を置くなど徳川家とゆかりが深く、家康の朱印状をはじめ多くの文書、寺宝を所蔵しています。



「ふるさとの名木」に指定されているイチョウとタラヨウ
地元では銀杏寺（ぎんなんでら）と呼ばれている



稲荷神社
上和田城主の宇都宮氏により1524年（大永4）に創建。代々の大久保氏も崇敬した。秋の例大祭には巫女の舞が行われる



探してみよう
「ふるさと城南」
看板
学区のあちこちに、小学生の絵をあしらった3色の看板（表紙）が掲示されています。まちを歩いて探してみてくださいね。



みんなに親しまれる学区の5大公園

F 中村公園
JR東海道本線下り線築堤のそばにあり、列車を眺める親子連れの姿も見られます



G 江口公園
住宅地の中にあり、いつも子どもたちでにぎわう公園。初夏には藤棚に白いフジが咲きます



H 祈禱野公園
六名町の旧字名「祈禱野」を公園の名に残しました。かわい鳥の看板が目印です



I 城南公園
占部川とJR東海道本線に面した公園。2016年に遊具がリニューアルされました



J 羽根西公園
稲荷神社の北側に隣接。園内にそびえる2本のメタセコイアの巨木がシンボルです



D せせらぎ街道
農業用水パイプライン上に整備された全長約3kmの遊歩道。天白町せせらぎ街道愛護会がボランティアで管理している



E 天白神社
矢作川の河畔近くにある神社。かつて矢作川はこのあたりで頻りに決壊し、水防祈願のために祀られたと考えられている



C 大久保一族発祥地
松平氏、徳川氏に仕えた大久保氏の根拠地だった上和田城の跡。1915年（大正4）に建立された記念碑がある



出身地を超えて、世代を超えて

多文化共生のまち、城南

みんなで楽しく踊ろうよ!



わたしたちの学区には外国出身の人が多く暮らしており、早くから多文化共生のまちづくりに取り組んできました。国を超えての交流だけでなく、世代を超えての交流も盛んです。人びとの「ゆうわ・YUWA」を目指したさまざまな活動を紹介します。

夕涼み盆踊り大会

開校30周年を迎えた2007年(平成19)から始まった行事です。当初はPTAが主体で行い、のちに社会教育委員会が主体となりました。年々内容が充実し、近年は盆踊りと模擬店に加え、城南小学校音楽部の演奏、オカザえもんやグレート家康公「葵」武将隊などのアトラクションも行われています。模擬店は学区内の各種団体が出店し、ブラジリアンBBQの店も大人気です。

ふれあい大運動会

住民の中に外国出身の人も大勢いることから、アナウンスは日本語、中国語、ポルトガル語、タガログ語の4か国語で行われます。開校以来続いている「大玉送り」は、学区住民と子どもたちが一緒に競い合う種目です。



これがジョナーです!

城南CITYカーニバル

小学校の秋のビッグイベントのひとつで、2006年(平成18)に始まりました。子どもたちが仮想のまち「城南CITY」を作り、学年ごとに「働く店」や「遊ぶ店」を出店。校内通貨「ジョナー」を貯めたり使ったりして楽しみながら、理想の社会を考えています。



カーニバルのねらいである「キャリア教育」と「多文化共生」などの取り組みが認められ、2012年(平成24)にユネスコスクールの認定を受けました!



それいけ、子どもたち!

伝承遊びの会

小学校1年生の子どもたちが、老人クラブ連合会の有志から竹とんぼ、お手玉、こま回しなど昔なつかしい遊びを教わる行事で、1991年(平成3)頃から続いています。遊びのコツを教わるなかで、人と人のつながりの大切さを学んでいます。



12連覇の金字塔は指導のおかげです!

城南小学校

ゲートボールクラブ

1995年(平成7)頃より、老人クラブ連合会のゲートボール担当者が、小学4~6年生のクラブ員に実技指導をしています。クラブの時間や夏休みの早朝練習には、技術だけではなく礼儀作法も学んでいます。2004年から2015年まで岡崎市少年ゲートボール大会で12連覇を果たしました。



また、2008年には愛知県大会で優勝し、第13回全国ジュニアゲートボール大会へ初出場しました。

上手に飛ばせるかな?



避難所体験

2015年(平成27)に防災訓練の一環として「避難所一泊体験」を行いました。学区の防災部、消防団、婦人自主防災クラブが中心となって企画し、避難所運営の体験を通して緊急時の対応を訓練します。通訳担当者もメンバーに加わり、外国出身の人も参加しました。



新年歩け歩け大会・交礼会

開校年度から続いている学区の新春行事です。1月1日、学区にゆかりの深い4社(稲荷神社、天白神社、比蘇天神社、真宮神社)を町ごとに歩いて参拝します。最終参拝所は年ごとに代わり、その神社で新年交礼会を行います。



言葉と文化を伝え、学ぶ日本語教室

日本語がわからない外国出身の人に基本的な会話を教えることを目的に、岡崎市主催で行われています。2012年(平成24)から上和田住宅集会所が会場になり、入居者だけでなく、岡崎市内の各地から多くの人が日本語を学びにやってきます。また小学校では、中国からの帰国子女の編入をきっかけに、1992(平成4)年頃から日本語教室を行っています。

熱心に学ぶ日本語教室の参加者



子どもたちががんばっています

